



キク編

病害虫注意報 2022年12月号



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

白さび病と害虫の発生に注意しましょう！

閉めきったハウス内は湿度が高くなり、白さび病発生の原因となります。
また、ハダニ類、アザミウマ類、アブラムシ類等、各種害虫の発生にも注意が必要です！



症状

- ▶ 葉に白い隆起した斑点が発生。
- ▶ 茎、葉柄、花梗、ガクに発生する場合もある

多発条件

- ▶ 15～20℃の気温。
- ▶ 多湿条件（湿度90%以上）や葉の結露。
- ▶ 降水量が多く、比較的冷涼な時期。
- ▶ 肥料不足、窒素不足。

対策

- ▶ 循環扇によるハウス内の温度・湿度ムラを減らす。
- ▶ 予防的な薬剤散布
- ▶ 排水不良圃場では団粒化資材を用いるなど排水を良好にする。
- ▶ 発病株は伝染源になるため、抜き取り、焼却もしくは土中深くに埋める。

今月のおすすめローテーション



地域の防除事例を基に作成しています(輪菊栽培)。品種、栽培条件によっては薬害が発生する場合があります。さらに、展着剤・葉面散布剤等を加用する場合もご注意ください。

時期	RAC	対象病害虫	薬剤名	希釈倍数	使用時期	回数
定植時	P02	白さび病	inochioキクツチャ粒剤	6～9kg/10a (作条土壌混和)	定植時	1回
生育初期	M03	白さび病	予 アントラコール顆粒水和剤	1,000～2,000倍	発病前～ 発病初期	6回
	23	アザミウマ類・アブラムシ類 ハダニ類	inochioセイレーンフロアブル	2,000倍	発生初期	3回
消灯時	39	うどんこ病・白さび病	予 ピリカット乳剤	1,000倍 (うどんこ病2,000倍)	発病初期	6回
	19	ハダニ類	ダニカット乳剤20	800倍	開花前	2回
発蕾時	11	白さび病	予・治 inochioオペラフラワー乳剤	2,000倍	発病初期	3回
	19	アザミウマ類・ハダニ類	ポリオキシシンAL水溶剤※	2,500倍	発生初期	8回
破蕾時	7	白さび病	予・治 カナメフロアブル	4,000～8,000倍	発病初期	3回
	20B	ハダニ類	カネマイトフロアブル	1,000～1,500倍	-	1回

対象病害虫によって希釈倍数が異なる場合があります。ラベルの確認をしてから使用してください。

※花き類・観葉植物登録

inochio キクツチャ粒剤



- ★有効成分が 抵抗力を活性化！
- キクの抵抗性を誘導
- ★効果の持続性に優れる
- ★耐性菌が出にくい

白さび病/定植時
作条土壌混和/1回 6～9kg/10a



inochio オペラフラワー乳剤

白さび病に高い防除効果！



- ▶ 低濃度でも優れた効果！
- ▶ 高い浸達性と残効性
- ▶ 速やかな効果発現

2,000倍 発病初期/3回

